

1 自己評価及び外部評価票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3790700060		
法人名	有限会社マイルドケア		
事業所名	グループホームたんぼぼの家Ⅱ		
所在地	香川県東かがわ市湊319番地1		
自己評価作成日	令和2年12月1日	評価結果市町受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/37/index.php
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人香川県社会福祉協議会		
所在地	香川県高松市番町一丁目10番35号		
訪問調査日	令和3年1月27日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<ul style="list-style-type: none"> ・アットホームな雰囲気作りに職員全体で取り組んでいます。 ・利用者様それぞれの意思や個性を尊重し、思いやりの心で寄り添いのケアを提供しています。 ・年間を通じて季節感を感じることができるよう、様々な行事を催すことができるよう努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点】

<p>理念をもとにユニット目標や毎月の重点項目、さらには個人目標を策定することで理念が日々のケアの中で具体化されるよう取り組んでいる。今年度はコロナ禍で、感染対策や入居者の体調管理に注力している。地域交流については、現在は感染対策で控えているが、例年は、保育園との交流や地域ボランティアの来訪、毎年8月に開催している夏祭りには地元住民が多数訪れる。当事業所では、看取りケアにも取り組んでおり、看取り期は事業所のかかりつけ医や、家族と緊密にコミュニケーションを取りながら、その人らしい最後を迎えられるよう支援している。食事は品数が多く、食器にもこだわっており、食の楽しみがふんだんにある。</p>

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 グループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価票

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎日の朝・夕の申し送り時と月1回の全体会時に理念を唱え、理解を深めている。スタッフルームにも理念を掲げ、常に意識をしながら業務を行うようにしている。	理念は朝・夕の申し送り時及び月1回の全体会の時に唱和して、意識付けを図っている。また、理念をもとにユニット目標や毎月の重点項目、さらには個人目標を策定することで理念が日々のケアの中で具体化されるよう取り組んでいる。今年度はコロナ禍で、感染対策や入居者の体調管理に注力している。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎年8月に夏祭りを開催しているが、今年はコロナの影響で開催することができず、慰問やボランティアの訪問も控えている。	現在はコロナ禍で交流は控えているが、例年は、保育園との交流や地域ボランティアの来訪、地元の動物園などとも交流がある。毎年8月に開催している夏祭りには地元住民が多数訪れている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	活動状況報告などを見て頂き、認知症の方への対応や介護サービスの支援内容を理解してもらえよう努めている。	/	/
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回行い、入居者様の状況や活動状況、今後の予定を報告したり、施設への要望や意見を取り入れ、今後のサービス向上に活かしている。	2か月に1回開催している。現在はコロナ禍で書面開催となっている。事業所の運営方針や状況などを丁寧に説明している。議事内容は詳細に残しており、サービス向上に活かしている。	民生委員など、地域の関係者がさらに加わることで、より多角的な意見を得られるよう会議の活性化を期待したい。
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	当事業所の状況報告を行うとともに相談等、話す機会を持ち、市町村での諸手続きなどについても情報交換をしている。	市担当者及び地域包括支援センター職員が運営推進会議に参加しており、その際に事業所の実情を把握してもらっている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	全体会議等で勉強会を行い、身体拘束の内容について正しく理解をしている。出入口には施錠をせず、センサーを付け出入りが分かるようにしている。施設内の移動は自由である。	年4回、全体会議の勉強会で身体拘束をテーマに取り上げて、理解を深めている。事業所では玄関は施錠しておらず、また事業所内の移動も自由であり、抑圧感のない暮らしに取り組んでいる。外に出ようとする利用者にはいっしょに付き添って外を歩くなどしている。	

7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止については、職員全員の意識向上を図るために勉強会にて話し合いを行い、言葉の虐待にも注意し、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会などで学習し、ご家族様に制度について情報を提供するとともに、必要に応じ、相談及び支援を行っている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約前に十分な説明と見学をして頂き、質問にはわかりやすく説明をしている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時や電話等で意見や要望を聞き、それらを運営に反映させている。 ご家族様には、月1回文書で生活状況や健康状態等を報告している。	家族には月1回、生活状況や健康状態等を書面で報告しており、信頼関係の維持に努めている。家族からの意見や要望は面会時や電話などで聞き、運営に反映させている。運営推進会議にも家族が参加している。また、月に1回、市の介護相談員を受け入れている（現在はコロナ禍で中断している）。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の主任会・全体会時における職員の意見や提案が集まるよう、代表者が聞く機会を設け、運営に反映させている。	月に1回、主任会や全体会議があり、その際に意見や提案を聞いている。年に1回、本人の希望により、社長と個人面談もできる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は全体会・主任会に参加し、また自己評価票等において職員個々の実績や勤務状況を把握するとともに、職場の環境及び条件の整備を行っている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	全体会後に社内研修を実施して様々な技術を学習し、職員一人ひとりの力量を把握し、向上に努めている。		

14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会に加入している。 研修会等に参加し、他事業所の良い点を取り入れ、サービスの向上に活かすよう努めている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に十分な聞き取りを行っている。 できるだけ今までの生活と環境が変わらないように、ご本人様・ご家族様の要望を可能な限り取り入れている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	ご家族様の立場に立ち、ご家族様の要望に耳を傾け、信頼関係を築くように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	初回の面談時にできるだけ詳しいお話を伺い、ニーズに応じた対応を心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様のできることを把握し、生活する中でできないことを補う関係を築いている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	受診報告など、日頃からご家族様との連絡を密にし、更に面会時には状態説明をして、生活状態を知って頂いている。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	いつもは訪問しやすい環境作りをしているが、コロナのため面会を遠慮して頂いている。 希望があれば、馴染みの美容院等へは状況を見て利用している。	現在はコロナ禍で面会は控えているが、普段は面会は自由であり、知人や近所の方も面会に来ていた。外出なども個別支援をしており、馴染みの美容室や買い物に出かけるなど、馴染みの関係が途切れないようにしている。	

21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の日頃の関係を観察し、必要に応じて職員が間に入るなどして対応をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	他の施設へ転居した場合でもこれまでの生活や趣味及びケア等を細かく伝え、分からないことは連絡してもらえるように努めている。利用者様と病院等でお会いすることがあれば、近況を伺ったりしている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日頃の会話の中で、ご本人様が希望されていることを職員が把握し、プラン更新時に検討し、ご希望に添えるように努めている。	日頃の会話の中から昔のことや家でしていたことを聴きだし、本人の意向の把握に努めている。また、担当制を敷いており、担当の利用者の買い物や居室づくりを支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人様・ご家族様双方の情報を収集し、その情報を職員間で共有している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	アセスメントを参考にして日常生活の状態の把握に努め、実施する時はご本様とも話し、理解をして頂いている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケアプラン更新時や担当者会議で意見を出し合い、ご本人様が生活しやすいようにお手伝いをしている。	計画作成担当者が、利用者の担当者から意見を聞いたり、家族にも電話などで意向を確認して計画を作成している。また、必要に応じて、受診時にかかりつけ医に意見を聞いたり、照会をかけたりすることもある。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録・食事量チェックなどを通し、改善したほうが良い点や統一したほうが良い点を職員間で話し合い、見直しを行っている。		

28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご家族様・ご本人様了承の上、買い物をしたり外気浴などを行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	天気の良い日には近隣散歩に出かけたり、スーパーでの買い物などにより、心身ともに豊かな暮らしができるよう支援をしている。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人様やご家族様の希望される医療機関で、適切な医療が受けられるように支援をしている。	本人及び家族が希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診時は看護師が同行しており、日頃の状態がかかりつけ医に正確に伝わる。受診の結果は、電話や月1回の定期報告で家族に伝えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	常に看護師がおり、利用者様の状態を把握している。 介護職員と健康管理等の相談をすることにより情報を共有している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	利用者様の入院時にはサマリーを作成し、病院には状態を伝えている。 主治医の紹介状が必要な場合は、作成依頼をしている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合の対応に係る指針について、ご家族様に説明を行っている。 状態の変化時にご家族様と職員で話し合い、主治医からも助言を受け、状況に応じた対応をしている。	入居時に、重度化した場合の対応に係る指針に基づいて、説明、同意を得るとともに、状態の変化に応じて、話し合っている。看取り期は事業所のかかりつけ医についてもらい、家族とのコミュニケーションを緊密に取るようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時の対応マニュアルを見やすい場所に掲示し、対応している。 勉強を行い、全ての職員が応急手当ができるように努めている。		

35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回、うち1回は消防署立ち合いのもと、防災訓練を行っている。 夜間の避難経路の確認・通報の仕方・通報装置や消火器の使い方を確認している。	年に2回、火災や地震を想定した訓練を実施している。うち1回は消防署に立ち合ってもらっており、さまざまな課題が出て、次回に活かしている。事業所は海が近く、津波時は近くの高い建物に避難するよう取り決めをしている。また、自治会長が事業所の訓練に参加していることもある。	引き続き訓練を行ったり、高齢者施設の災害対策に関する情報収集を行い、避難誘導の知識や技術向上に努めてほしい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	名前の呼び方・言葉かけが不適切にならないようにしている。 言葉かけの仕方なども職員間で話し合っている。	接遇やプライバシー保護の研修を行っている。言葉遣いは、利用者や家族に対して慣れ慣れしくならないように留意している。プライバシーでは、入浴やトイレの声かけなど、羞恥心に配慮するよう気をつけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員の押し付けをせず、常に傾聴に努めるとともに、ご本人様の希望した対応を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その日の状況に応じて個々の対応をしている。 天気の良い日には外気浴を行い、ホーム内で閉鎖的にならないようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替え時の服選びや化粧など、おしゃれをたのしみながら生活できるように支援をしている。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様の好みを聞いて取り入れられるようにしたり、食レクでは食べたいものを一緒に作ったり、畑で育てた野菜を収穫し、食べることを楽しませている。	食事は品数が多く、食器にもこだわっている。また、週に2回、選択食と称して、好みに応じて魚か肉を選択できたり、うどんかそばを選ぶことができる。おやつ作りも趣向を凝らしており、食の楽しみがふんだんにあることが当事業所の強みである。食事形態も利用者の嚥下状態に応じて、きめ細かく対応している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	咀嚼や嚥下の状態に応じて食事の形態を変更するなど工夫を行い、必要な栄養が摂れるように支援をしている。		

42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛けにて歯ブラシや口腔ケアスポンジなどで口腔ケアを行い、口腔内の清潔保持に努めている。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンとタイミングを記録し、トイレでの排泄と自立について検討・支援をしている。 また、腸の動きが良くなるように、体操や歩行運動を支援している。	利用者の排泄記録を見ながら、排泄パターンやサインなど、職員間で話し合っ、失敗が少なくなるよう支援している。また、腸の動きが良くなるように昼食と夕食の前に体操したり、歩行運動を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘の原因となり得る運動不足や偏食・水分量などを検討し、バランスよく食べるように声掛けを行うとともに、適度な運動も行うようにしている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	目安となる週2回の基本パターンはあるが、ご本人様の希望・体調等を考慮して支援をしている。	週に2回、入浴できるよう支援している。シャワーチェアで入浴できる機器もあり、利用者の重度化にも対応できる。入浴を拒否する方には、職員を変えたり、時間を置いたりするなど、工夫している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活リズムを把握し、安心して眠って頂くように支援をしている。 日中でも横になりたい時は、自由に休んで頂くようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の種類・量の変更があった場合は受診記録・スタッフ間の申し送りノートで必ず確認し、効果と副作用が分かるように説明を受けている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入居者様それぞれに合った役割を見つけ、楽しくできる作業や作品作り等を行って頂いている。 また、テレビ鑑賞や日々のレクリエーションを職員と共に楽しんで頂いている。		

49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	年間行事計画に沿って、感染予防に気を付けながら、ドライブやお花見等に出かけるようにしている。	現在はコロナ禍で難しいが、車から降りずにドライブに行ったり工夫している。例年は、ドライブや花見、個別の外出支援も行っている。また、年に1回、利用者・家族・職員総出で県外などに遠足に行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	移動販売が来た時や外出買い物レクの時には、金銭管理が可能な方にはお金を持ってもらい、スタッフ同行のもと、ご自分で支払って頂くようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご本人様・ご家族様の希望でご自分の携帯電話を持ち、スタッフの支援のもと電話をされている方もいる。 ご家族様やお友達に電話や手紙を希望された場合は、やり取りができるように支援をしている。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	過ごしやすいように室温調整に努め、利用者が制作した季節の手作りの作品を飾り、季節感を出している。 また、日頃の皆様の様子を写真撮影し、飾っている。	季節の飾りつけや行事の際の写真を掲示することで、季節感や生活感を出している。感染対策のために手すりやドアノブなど、1日数回消毒を行っている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有空間はゆったりとしている。 テーブルが3つに分かれており、気の合う方が同じテーブルで話す機会を作っている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日居室内清掃を行い、清潔にしている。 使い慣れたものを持ち込んで頂き、居室内では心地よく過ごして頂くようにしている。 ご家族様の写真を飾っている方もいらっしゃいます。	テレビや、家で使っていたソファなど、馴染みのものを持ち込んでもらったり、家族の写真を掲示するなど、落ち着いて過ごせるようにしている。	

55	○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している	共有部分には手すりがついており、安全に生活ができるようになっている。 毎日の食事メニューを張り出し、楽しみの持てる生活ができるように支援をしている。		
----	--	---	--	--